

わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（9月26日）は数学Ⅰ（数学）の授業でした。

本時の目標は、「 $y = ax^2 + q$ の形のグラフがかけられるようになる」でした。

授業のポイントは、教材としてデジタル教科書を用いたことです。2次関数のグラフをプロジェクターを用いて黒板に投影し、その上から書き込みながら解説をしました。今後もグラフ・図形などを用いる単元を中心に積極的なICTの活用を行い、生徒が理解しやすい授業づくりに取り組んでいきます。

